

## 令和2年度シラバス

教科名	芸術	科目名	音楽 I	履修学年	1 年生	履修形態	必修選択
単位数	2 単位	時数	70 時間 (50 分授業)	担当者名	大野 深雪		

教科書	教育出版『音楽 I 改訂版 Tutti』	副教材	
-----	----------------------	-----	--

学習目標	音楽の幅広い活動をとおして、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。
指導の重点	音楽の基礎固めを徹底的にし、その基礎をもとに、 1 歌唱・器楽の実技能力の向上を目指す 2 音楽に関する見識を広める 3 音楽を表現する意識と興味関心の向上を目指す

学期	考查	単元	時数	学習内容	評価の観点			
					関	創	技	鑑
第1学期	中間	[歌唱] 高校音楽開始として	6	導入として慣れ親しんだ日本の曲を歌う	○	○	○	○
		[楽典] 音楽の三要素	6	音感・聴音の育成等のソルフェージュ 楽語等の基礎知識について	○		○	
第1学期	期末	[歌唱] 独唱歌曲	6	日本の古典・現代歌曲について	○	○	○	○
		[器楽] リコーダー	6	4種のリコーダーの奏法・楽曲について *歌唱・器楽それぞれの鑑賞を含む	○	○	○	○
第2学期	中間	[器楽] ギター	8	クラシックギターの奏法・楽曲について	○	○	○	○
		[歌唱] 独唱歌曲	6	外国のクラシック歌曲について *歌唱・器楽それぞれの鑑賞を含む	○	○	○	○
第2学期	期末	[器楽] 合奏	10	リコーダー・ギター等のアンサンブル	○	○	○	○
		[鑑賞] 日本の音	2	日本の民謡・伝統音楽について	○			○
		[鑑賞] 外国の音	2	世界の民族音楽・ポピュラー音楽について	○			○
第3学期	学 年 末	[器楽] 琴	6	奏法・歴史について	○	○	○	○
		[創作] 作曲	6	形式や作曲の方法について	○	○	○	
		[鑑賞] 舞台音楽	4	歌舞伎・ミュージカルについて	○			○
		[研究] 音楽史	2	西洋史について	○			○

計 70 時間 (50 分授業)

※ 評価の観点 関：関心・意欲・態度 創：音楽表現の創意・工夫  
技：音楽表現の技能 鑑：鑑賞の能力

(評価の観点)

	関心・意欲・態度	音楽表現の創意・工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
評価の観点	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図ができる。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	授業観察 出席状況	授業観察 実技試験	授業観察 実技試験	授業観察 提出物

担当者から一言	中学校までと違い、選択者のみの授業ですので、大勢でできることはほとんどありません。得意・不得意は関係なく、精一杯取り組んでほしいと思います。新しい発見が一人一人必ずあります。
---------	---